

工種	撮影基準	撮影箇所
5 水路トンネル工事	1. 水路トンネル 卷厚については1スパンにつき1箇所の割合で撮影する。 その他は掘削タイプの変化する毎に1箇所の割合で撮影する。	卷厚、型枠、切羽、支保工、矢板、坑口、その他必要箇所を撮影する。
6 水路工事	1. 現場打開水路 おおむね2スパンにつき1箇所の割合で撮影する。	幅、厚さ、高さ、配筋、打継目、その他必要箇所を撮影する。
	2. 現場打サイホン 上記と同一。	上記と同一。
	3. 現場打暗渠 上記と同一。	上記と同一。
	4. 鉄筋コンクリート大型フリューム 鉄筋コンクリートL形水路 施工延長おおむね 50~100mにつき1箇所の割合で撮影する。 上記未満は2箇所撮影する。	鉄筋コンクリート大型フリュームについては、布設、その他必要箇所を、鉄筋コンクリートL形水路については、幅、厚さ、布設、その他必要箇所を撮影する。
	5. ボックスカルバート水路 上記と同一。	高さ、その他必要箇所を撮影する。
7 河川及び排水路工事	1. コンクリート法覆工 アスファルト法覆工 上記と同一。	幅、厚さ、法長、法勾配、その他必要箇所を撮影する。
	2. コンクリートブロック積み水路 鉄筋コンクリート柵渠 上記と同一。	コンクリートブロック積み水路については基礎関係、裏込、幅、高さ、その他必要箇所を、鉄筋コンクリート柵渠については、アーム間隔、柵板設置、その他必要箇所を撮影する。
	3. ライニング水路 連節ブロック コンクリートマット 上記と同一。	布設、幅、法長、その他必要箇所を撮影する。